

- 「医療分野の研究開発関連の調整費に関する配分方針」（平成26年6月10日健康・医療戦略推進本部決定）に基づき、平成27年度第1回配分予定額は総額で145.4億円。
- なお、第2回配分及び年度途中で機動的に対応すべき事項が生じた場合等に対応するため、29.6億円を配分せずに留保。
（参考）科学技術イノベーション創造推進費（500億円）のうち35%（175億円）を医療分野の研究開発関連の調整費として充当。

主な取組

1. 医薬品・医療機器開発への取組

- ① オールジャパンでの医薬品創出 23億円
 - 次世代PPI阻害ライブラリの構築、リード化合物の創出による革新的医薬品の開発を加速
- ② オールジャパンでの医療機器開発 12億円
 - 力触覚フィードバック機能を付加した手術支援ロボット等の最先端医療機器の開発を加速

3. 世界最先端の医療の実現に向けた取組

- 再生医療の実現化ハイウェイ構想 17億円
 - 疾患特異的iPS細胞を活用した創薬・疾患研究の加速、臨床利用目的の新規ES細胞の樹立

5. その他

32億円

- （感染症）
エイズに対する世界初となる革新的医薬品開発を加速
- （その他疾病）
糖尿病・循環器疾患に関する研究開発の加速、環境因子（常在菌叢、ウイルス叢）に着目したアレルギー疾患の研究開発を加速
- （ICT）
大規模健康・診療データ収集・利活用の促進

2. 臨床研究・治験への取組

- 革新的医療技術創出拠点プロジェクト 18億円
 - 幹細胞を用いた小児代謝性肝疾患根治療法の開発、国産小児用体外式拍動型VADシステムの研究開発

4. 疾病領域ごとの取組

- ① ジャパン・キャンサーリサーチ・プロジェクト 11億円
 - AYA世代（思春期及び若年成人）の希少がんの治療法開発を目指したゲノム機能解析とその臨床応用
- ② 脳とこころの健康大国実現プロジェクト 15億円
 - 認知症等の研究加速および標準化等に係る研究、うつ病等の精神疾患バイオマーカー開発を加速
- ③ 新興・再興感染症制御プロジェクト 6億円
 - エボラ出血熱に対する治療薬等の開発を加速
- ④ 難病克服プロジェクト 13億円
 - 未診断疾患プログラムの基盤作りに必要な各スキームの構築、潰瘍性大腸炎に対する新規治療法の確立

配分方針(健康・医療戦略推進本部決定)

① 現場の状況・ニーズに対応した予算配分

(ア) 日本医療研究開発機構の理事長がPD等の意見を勘案して、年度の途中で研究開発が加速する等の理由により、追加的に研究開発費を配分することが研究開発の前倒しや研究開発内容の充実等に効果的と判断した事業について配分。

(イ) 理事長がPD等の意見を勘案して、健康・医療戦略等の取組を一層推進する観点から、特に優れた課題の採択数の増加や新たな研究課題の公募等が望ましいと判断した事業及び新たな事業について配分。

② 推進本部による機動的な予算配分

(ア) ある領域において画期的な成果が発見された等により、当該領域へ研究開発費を充当することが医療分野の研究開発の促進に大きな効果が見込まれる場合に配分。

(イ) 感染症の流行等の突発事由により、可及的速やかに研究開発に着手する必要が生じた場合に配分。

平成27年度の調整費の配分に 係るAMED理事長の検討方針

1. 調整費の配分において重視するもの

- ① 科学的価値、社会的価値の双方を有する事業
- ② 分野間連携、事業間連携により行う事業
- ③ 既存の研究開発基盤等を利活用する事業
- ④ 国が進める「健康・医療戦略」推進のための取組に資する事業

2. 新たな事業化の可能性があるもの

- ① 若手研究者の育成に資する研究
- ② 希少難病疾患・未診断疾患等の研究
- ③ その他(PD推薦事項等)

平成27年度 第1回調整費配分案の取りまとめ

健康・医療戦略推進本部にて配分を決定

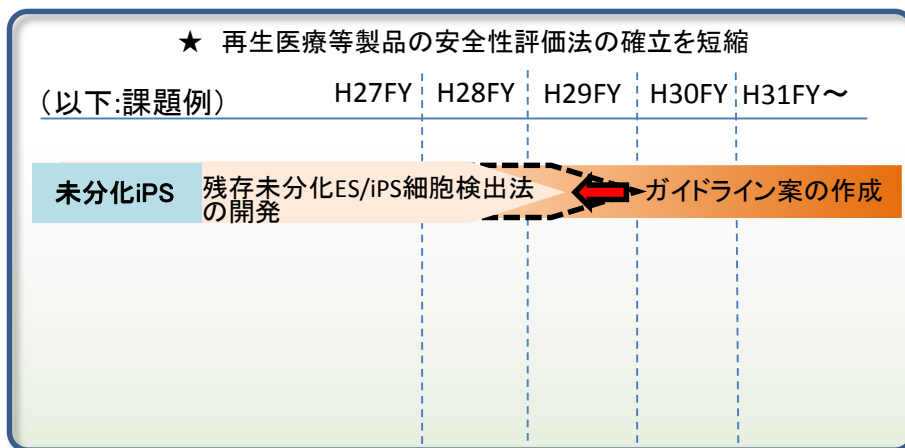
(注) 機構設立前の26年度においては、各省連携プロジェクト及び医薬品・医療機器開発の取組について、各プロジェクトごとにPDなどマネジメントを行う者を構成員とする「共同の推進会議」を設置し、事業の円滑な執行・管理を図ることとした。調整費の配分については、当該会議の意見を踏まえた各省の要求に基づき、推進本部が決定。

■ 配分方針(健康・医療戦略推進本部決定)

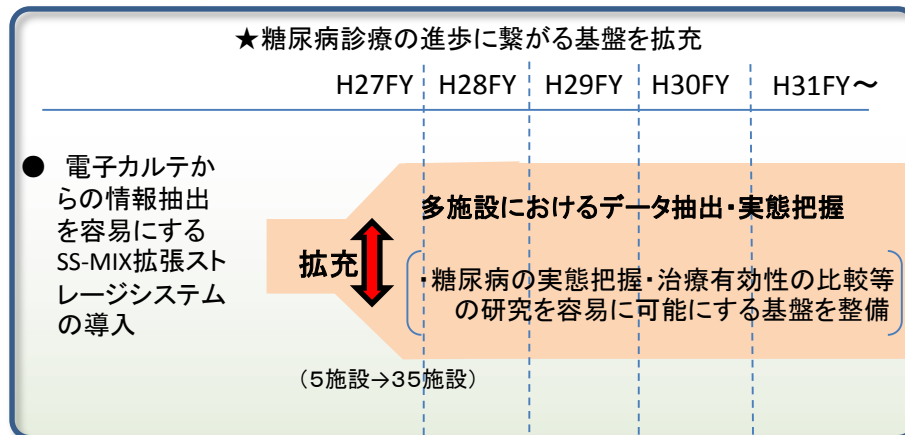
- (1) **加速**: ①前倒し: 研究開発の前倒し、②充実: 研究開発内容の充実等
- (2) **新規**: ①新規事業の開始、②事業内新規研究課題の開始等

●「加速」の例

【①前倒し: 臨床研究を見据えた迅速な取組】

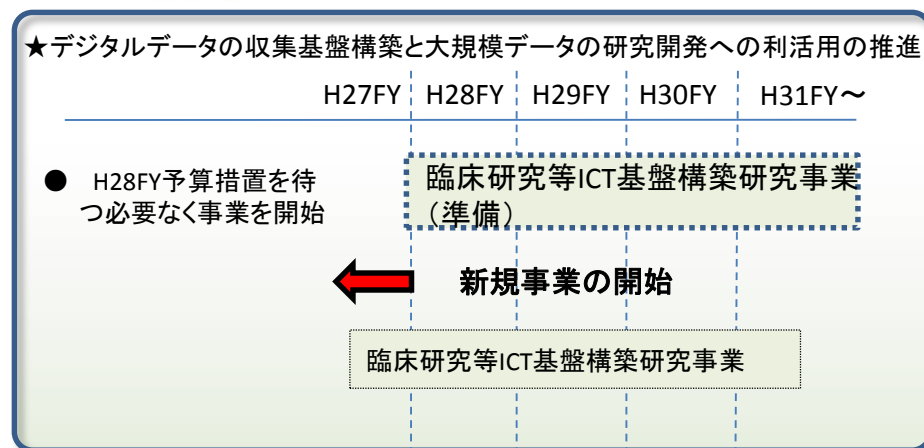


【②充実: 医療ICT基盤の構築と利活用の推進】



●「新規」の例

【①新規事業: 医療ICT基盤の構築と利活用の推進】



【②事業内新規研究課題: 革新的医薬品創出への対応】

